

# 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

（令和4年3月8日 午前10時35分）

●議長（佐藤武雄） 休憩前に続き、会議を開きます。

通告の7、森山木の実議員。

1 新しい信越病院の売店について

議席番号8番、森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） 議席番号8番、森山木の実でございます。質問の前に申し上げます。昨年秋からの体調不良により多くの方にご心配をおかけしましたが、温かいご支援をたくさんいただき、今日ここに立つことができました。信濃町に住んで本当に良かったなとつくづく感じた次第です。ありがとうございます。さて、質問に入ります。昨年9月の議会全員協議会で、新しく建てる病院の概要の説明を受けていた時に、同僚議員が「病院内に売店が無いじゃないですか」ということを発見しました。その指摘に私もびっくりして、いろいろ調べたりしたんですが、信越病院でさえ、「さえ」っていうと失礼ですけども、院内に売店はあるし利用者も多く、利益率はもしかしたら病院よりも多いのではとされているくらいです。院内になれば、じゃあどこに造るのか、9月議会の定例会の同僚議員の一般質問に対する答弁は次のようなものでした。「病院事務長の答弁ですが、現在の建設における設計の中、計画の中においては実際売店に必要なものとかどんな事業者が入っていただけるかどうかということを、病院の全体をコンサル、マネジメントしていただいているコンサル業者の皆様と共同で」ここなんですよね。なんでコンサルなんだろう。なんで住民ではなく、町の職員でもなく、なんでコンサルが調査していくのか。「実際に大規模病院のようなコンビニぐらいのものにつきましても、大手事業者また病院の専門の資材を扱っている事業者様、複数にヒヤリングをコンサルタント会社の方で実施していただきました。実際にはもう町の人口や立地条件、一番は病院の病床数の数からとって出店の要件を満たしていないというご返事」これたぶんコンビニの大手事業者ですね、「そういうお返事をいただいておりますけれども」地元の業者でもそのコンビニというのはちょっと二の足を踏んだという報告が来たらいいですね。「例えば設置につきましては実際に新しい病院の売店の機能として求められるということで、院内でも物のリストアップ等の調査をさせていただいております。基本的には衛生用品を中心という形になっておりますが、実際に入院に必要な雑貨など対象となるものの設置については基本方針の中で、院外処方を含めて進めていると。その院外処方の敷地内薬局の誘致の中でそういう売店の機能も持たせられるかどうかは今一緒に考えている、考えていって下さるということですね。実際に議員のご指摘のとおり、病院の施設の面積に置かましてもはかなり限られた中でありまして、非常に難しい状況であると。例えば自動販売機等も設置する予定ではありますが、対応できるものも限られていると。それも含めた中で今検討している最中である」とそう

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

いう答弁が得られたんですね。私もちょっとそこを聞き逃してしまって会議録読んでこんなこと言っているんだと思ったんですけども。これを読み直してみましてなんでコンサルが、財政的に厳しいから無理だろうとか言っているわけですよ。そのコンサルの言いなりになって売店を作るの作れないのと決めていくというのが、私はどうしてなんだろうと不思議に思ったんですね。じゃあ信濃町はどうしたいのか。信濃町は入院患者や利用者のために病院の中に売店を作りたいのか、作りたくないのか、町はどう考えているのか、住民は必要としているのかどうか。コンビニじゃなくてもいいから小さいものでもいいから欲しいと住民が思っているのかどうか、そういうところから考えていくべきだと思うんですね。例えばここにコンビニ作っても立地もよくないし人も少ないし、どこの会社も来てくれるわけがないだろうというのは、何もコンサルに頼まなくても私だって分かります。コンビニ無理ですよ。コンサルが何を言おうがまずは町がどうしたいか、住民がどうしたいかではないかと思うんですね。これが一番だと思うんですよ。コンサルが私立の病院を建ててくれるなら中身をお任せしますが、これは町民の税金で建てる町立病院ですから、町民がどうしたいのか、町民が何を欲しているかが一番だと思うんですね。ささやかなものですよ、私たちが欲しいと思っているその売店。コンサルの人は今の信越病院の売店を見ていないんじゃないかと思うくらい、本当に小さくてささやかな売店で十分だと私は思っています。エレベーターホールの片隅にでも、または黒姫駅にあったキヨスクぐらいの広さでも十分に機能は果たすと思っていますから。まあ倉庫は必要ですけどもね。それでコンビニなんていう贅沢なことはこの小さな町で無理やり考える必要はないと思っています。ということ念頭に置きまして、今日は売店を作るかどうかではなく、なんで病院内に売店がないことを指摘されるまで議会に知らせてくれなかったのか。情報としては小さなものかもしれないけれど、実は大事なことなので聞かせていただきます。通告に沿って聞いていきますが、まずどこの病院でも病院内には売店があると思うんですよ。その売店の役割というのはどういうものだと町長思いますか、聞かせていただきたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 新しい病院の建設に向けての院内の売店の関係のお話かと思えます。先ほども言いましたけれども病床数や患者数等々の関係で、それぞれの病院で求められている、売店だとか場合によってはレストランだとか、それぞれのところがあるわけですが、それぞれの状況の中で考える結果のことだと思います。そこで今森山議員さんから、病院における売店の役割といいますか、機能というのは一体どのように考えているんだということでございます。1つはやっぱり院内で入院されている患者さん、あるいは外来でお越しになる皆さん方患者さん、さらにはお見舞い等においでになられる関係の皆さん。もっと広く言えば院内で働いている皆さんも含めて、1つは物の調達という分野の大きな機能もあるだろうと思います。それからもう1つは、そういう業界の皆さん方から言われているのは、ある面では病院に入院されている皆さん方が売店を使うことによるリハビリ的な機能もあるんだというような言われ方もしているっ

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

ていうのは私も承知しておりますが、そういうものなのかなと思っております。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） ありがとうございます。私もその体調不良の間に売店ウォッチングをだいたしたんですが、その中で看護師さんに話を聞いたんですね。看護師さんが言うには、この病院というのは患者さんが退院して、はい終わりというものではない。今町長がおっしゃったようにリハビリ、社会と没交渉になっている場合が多いんですね。ただ退院してやはり日常に戻るにあたって、やっぱりいろんな世間との交渉を取り戻したり、リハビリ的に世間との繋がりをもう1回体験していく、お金を払ってものを買っていく、それから毎朝新聞を買いに行く、それから何も食べられなくてもチョコだけなら食べられると、そういう人もいるし世間との没交渉から一步出てもう1回日常に戻るための第一歩となる売店の機能もあるんじゃないかなという話を看護師さんがしてくださいました。つまり退院したら、はいさようならおめでどうではなくて、その後の生活もちゃんと見ていけるような機能ですね。他にもいろいろあるんですけども、売店で言えばそういうこともあるんじゃないかなという話もしてくれました。だから本当に買い物だけではなくて、これが世間だよという、お金を払ってものを買ったり、ものを選んだり、それからそこに来る人と話をしたりとか、そういうことが気楽にできる所が売店だと私も思っています。それから次の質問に行きますけれども、今年1月の議会全員協議会の中で事務長からお話があって、院外薬局を施設内に誘致することを想定している。その中に売店機能を持たせるということは今現在検討などしている所でありますという説明がありましたが、おっしゃった中での売店機能、今度はもうちょっと具体的に売店の機能というのはどういうものですか。院外薬局を施設内に誘致してその中に売店機能を持たせると、これ今会議録を閲覧させてもらって言っているの、おっしゃったんですけどね。院外薬局の中の売店機能というのを具体的にどういうものでしょうか。また検討しているということでしたがそれは出来るのかどうか、検討した結果はどのようなものだったのでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい、売店機能を持たせるということで、敷地内に薬局を誘致する中で、その薬局の中に売店機能を持たせるというご説明を申し上げました。売店機能につきましては、どんなものを売店で取り扱うのかということの内容については、さきほどお話いただきました院内の各部署でどんなものを取り扱えばいいのかっていうリストアップはしてございます。そのものを敷地内薬局の中に売店として、小売店舗としてそのところに一緒に併設して、敷地内薬局を設置したいという、今検討してきてございます。経過につきましては、1月の全協でもご説明申し上げましたが、その時と変わらず病院の専門の売店事業者や、大手の売店事業者にヒヤリングをコンサル担当の方で実施しておりまして、やはり病院の規模から、また地域性から出店は難しいとい

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

うご返事をいただいているという状況では、今その状況のままでございます。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） なんか私、会議録読み違えたんですかね。施設内に作るという、薬局を誘致すると読んでしまったんですけど、敷地内ということですね。ということは入院患者さんが売店に行くとなると、もしかして1回表に出なきゃいけないということですかね。こんな大雪の中でも。あのそれ本気ですか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） あのコロナ禍の中で、現在地方行政が厳しい状況も踏まえた中で昨年度から基本構想、基本計画を取りまとめた中でも敷地内に薬局を誘致するという事になってございます。売店の機能につきましても、1年間検討してきた中でどうしても、利用される方の利便性を踏まえた中でもやはり敷地内に設置することが今一番望ましいというか、一番ベターな方法だというふうになっております。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） 敷地内と施設内じゃだいぶ違いますよね。施設内ではないってことですね。薬局も、薬局に併設する売店も。だから今回のような大雪の中でも入院患者は厚手のコートを着てぶるぶる震えながら買い物に行くんですかね。さっき言った売店の役割というものが全然、この厳しい信濃町の気候にもう1回さらされて感覚が戻るといならまた別ですけども、病人ですからね。やはり施設内にあるのと、敷地内にあるのとじゃ大違いだと思うんですけれども、本気で敷地内と思っておられるようですが、そんなに広くなくたっていいんですよ。さっきも言いましたけど、エレベーターホールの片隅とか、キヨスク程度の大きさとか、そんなのでいいのもうちょっと考え直していただきたいと。今回は売店作る作らないの話ではなくて、なんで私らは、議会は、売店が施設内にないということを知らされなかったのか。同僚議員が発見するまで知らなかったんですよね。それをどうして教えてくれなかったのかな、どうでもいいと思っていたのかなっていうのがあるんですけれども、そこはどうですか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） 議員の皆様方にお示ししたのは今お話いただきました9月と本年度の1月の全員協議会の時に、9月につきましては院内の配置図、ゾーニングと呼ばせていただいております図面と、1月につきましては基本設計が進みましたので、院内の詳細な図面と敷地全体の図面を示させていただきました。もともと基本計画、基本構想の中では売店は整備する方針で進めてきてございます。本年度基本設計を取りまと

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

める中でも、売店につきましては施設内に計画するというで一応スタートを切りました。その中で、院内で毎週1回ぐらいいろいろな検討会議を重ねた中でどうしても病院という医療施設を、限られた施設面積の中で、限られた財源の中で設計していくとなると、どうしても医療の部分が優先になりまして、枠の中で病棟施設以外のところで対応可能な施設として今、カルテ庫、ゴミ庫、機械室等一部につきましては敷地内ということと、売店機能につきましても基本構想の検討事項でありましたが敷地内に設置する薬局において売店機能を持たせて継続的に運営できる薬局を誘致する方針というふうに進めてきております。ですからこの検討していく中で、どうしても限られた材料の中でやっていきますと結果的に敷地内の院外薬局の中に売店機能を持たせるということになりました。その検討してきている中でその都度議員の皆様には9月と1月にお伝え申し上げましたので、検討経過をその都度事務局側としてはお伝えしてきたと考えております。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） 9月にお伝えしてきたとおっしゃっていますが、お伝えしないので同僚議員が発見したんですよね。「ない」と言って。もしかしてわざと言わなかったとは言いませんけれども、これ設計業者はプロポーザルで選んだんですよね。プロポーザルはやっぱり信濃町民のためにこういう病院にしますというビジョンを掲げてくるわけです。で、プレゼンテーションがありましたね。その時には売店はあったということですね。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） プロポーザルの時には町側の主旨の中で示させていただいた中で、具体的な図面までは提出していただけてないわけですね。主な病院のゾーニングを示していただいた中で、機能を示していただいた中でプロポーザルですので、具体的にそこまでは踏み込んでないというような状況です。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） 病院のプレゼンが終わった後に、病院側からこのゾーニングの中で施設内に売店はないけれどもと言ってその選ばれた業者に聞くということはなかったんでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） その点だけについての質問はされてないと認識しています。

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） その時からもしかして、病院側は売店がどうもないぞということを知っていたんじゃないですか。9月の時点で積極的に議会に報告がなかったということも、悪く取ればこのままスルーっていったらいいかもしれないってことですよ。なんで議員から指摘があるまで、今回の病院には院内に売店はございませんと、皆さんは表に出て買い物してくださいと、緊急入院の方も必要なものは表に行ってお買い物をくださいと、そういうことをなんでもっと早く議会に知らせてくれなかったのか、そのところをちょっと聞きたいです。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） 一部繰り返しになりますが、もちろん今回の質問の要点は施設内に売店が必要だというお話なんですけれども、それも重要な話なんですけれども、新しい病院の病床数が減少して新たに建てるといって全体の構想の中でどんな病院にしていけばいいのかという基本構想をもとに今回、本年度基本設計を進めてきてございます。ご指摘いただく部分についても重要な施設ではございますが、病院の施設の大きさと病院を建てた後何十年と経営していく限られた財源の中で、どうやって病院機能を構想に基づいていい病院が作れるのかという観点で設計をしてきた中です。その中でも一部売店というのは重要な施設だとは思いますが、どうしても限られた施設面積の中で医療行為のことを優先していくと、例えば今回当初はコロナ禍で患者さん同士の間隔を取るというのは、待合のところについてはなかったんですが、本年度やっぱり今後も病院の待合室や感染対策については敷地が必要だと、そこを一番重点に施設のゾーニングをした中でどうしても売店の機能につきましても、カルテ庫、ごみ庫、機械庫と同様なんですけれども、どうしても外に出さざるを得なかったという状況ではございます。その中で、設計を進める中で適切な時期に議会の議員の皆様にご説明してきたというふうには考えてございます。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） 適切な時期に議会に説明したとおっしゃっていますが、積極的ではなかったですよ。指摘を受けるまで私たち知らなかったんですから。どうしてもっと早く教えてくれなかったのかな、もう少し議論できたのかな。住民代表ですからね、私たちも。その中で議論して決めて行きたかったなと思うんですけども、適切な時期に議会に報告したというのは、ちょっと私は受け取り方が違います。見つけちゃったっていう感じなんです。同僚議員が、私たちもないと。それで住民の人に今度売店ないんだってよって言うとなんかえーって言うんですよ100パーセント。なんで。それは私にも分からないんですけども、これこのまま指摘がなければ、もしかしたらずっと知らないで病院が出来て初めて売店がないよということになっちゃったん

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

じゃないかと思えます。今なら病院の売店は真っ先に外されたんだということが分かります。だけどもう少し早く教えて欲しかったなど。公表しなかったわけではないと思いたい、公表しないでこのままスルーしちゃおうと思ったわけじゃないとは思いたいんですけども、それはどうですか。このまま言わなければ言わないで病院作っちゃえとそんなことは考えてないですよ。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） 新病院の整備の基本構想、基本計画の中でも売店機能につきましては、項目等一部上げておりますので重要な施設でございます。お知らせするしないという部分につきましては、説明のその観点だけ見ると説明不足だったかと思いますが、病院の機能全体のご説明の中でお話させていただいたと考えてございます。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） 今更言ってもしょうがないというか、やっとなんで院内にないのかということも分かってきたような次第ですが、これ大事なところなんですけども、何人か今回一般質問の中で病院に関して説明会を開いてくれと、で開く予定もおありになるということで安心しているんですけども、町民の税金を使って建てる町立病院ですから、町民に説明しないということは考えられません。今後すべての町民対象に説明会を開いていただくということを、この間他の同僚議員の質問でもおっしゃっていましたが、もう1回事あるごとに説明会を開いていただきたいんですが、それはいかがでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） 今、基本設計の再度詳細の部分も詰めている状況でございます。出来るだけ事業費の精査を今している状況です。それが終わりました適切な時期に建設事業者等の打ち合わせの中で、出来るだけ早いうちに実施していくということで考えてございます。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） その適切な時期というのが、事務長の適切な時期か今度私たちが聞きたい適切な時期か分からないんですけども、今進捗状態はこうですよぐらいのこともちゃんと伝えてほしいと。私たちが知らないということはもう許せないんですよ、この議会としては。ぜひ本当に、今こうなんですということは積極的に教えていただきたいと思えます。それはそれでいいとしまして、話は変わりますけれども、提案なんですけれども、もし院内薬局が出来て、まあ院内じゃなくてもいいです。これ敷

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

地内でも、薬局に売店機能を持たせるとしたら今度もし敷地内として外に出なきゃならないとしたら、ナースステーションと連携して、ナースステーションに自分はこれが欲しいんだと、おむつのMサイズが5枚欲しいんだと、そういう要望があった時にナースステーションから院外薬局の方に注文をして伝票を書いてもらって、せめて風が吹く中買いに行かなくてもいいような連携をしてほしいと思うんですけれども、そういうことは考えていますか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） 新病院整備計画の中で病床につきましては、一般病床と医療病床で52床、あと外来につきましては、今の外来をそのまま継続していくという中で患者様が要望されている部分につきましては、もちろんいろんな病院の中での連携の中で、そういう部分のご要望に沿ったものを検討しなければいけないというのは当たり前の話だと思っています。

●議長（佐藤武雄） 森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） そのこのところ、よろしくお願ひします。私もただ万全と入院していたんじゃないかと、そのこのところをちゃんとリサーチしてきましたので。後払いになるんですよね、連携して何かを買うとなると。おむつが欲しい人がいたりとか、それからうがい薬が欲しいという人がいたりとか、いろんな人がいるんですけれどもそのこのところナースステーションに行くとこれこれ欲しいという、そこに置いてあるようなものですから、はいとすぐに出てくるんだって。そこでお金払わなくてよくて後で売店の方に払いに行くと、退院の時に。そういうことが便利だなと思っておりました。ですから敷地内であっても施設外であるのならば、それぐらいの利便性があってもいいんじゃないかと思ひます。今話し合っている最中とおっしゃいましたけれども、よろしくお願ひします。このこのところ大事なところなのでよろしくお願ひしますね。今日はこの辺で終わりにいたしますが、これからも情報はどんどん出していただきたいと要望いたしまして、質問を終わりにいたします。

●議長（佐藤武雄） 以上で、森山木の実議員の一般質問を終わります。本日の日程はすべて終了しました。お諮りいたします。委員会審査のため、本日の本会議終了後から3月23日までの間を休会としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、本日の本会議終了後から3月23日までの間を休会とすることに決定いたしました。3月17日木曜日は議会運営委員会午後1時30分から、予算特別委員会が午後2

## 令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（4日目）

---

時から、また予算特別委員会終了後、議会全員協議会が予定されておりますので、関係する委員の皆さんは時間までにご出席ください。本日はこれで散会いたします。ご苦勞様でした。

（終了 午前11時13分）